

北大形成外科

第47回

# アカデミー

2024.5.25 (sat) 15:20-16:45

北海道大学医学部百年記念館 大会議室

## Session 1

### 北成賞2024受賞記念講演

〈臨床研究論文部門〉

前田 拓

〈基礎研究論文部門〉

三浦隆洋

〈若手研究者部門“La Primavera”〉

佐々木雄輝

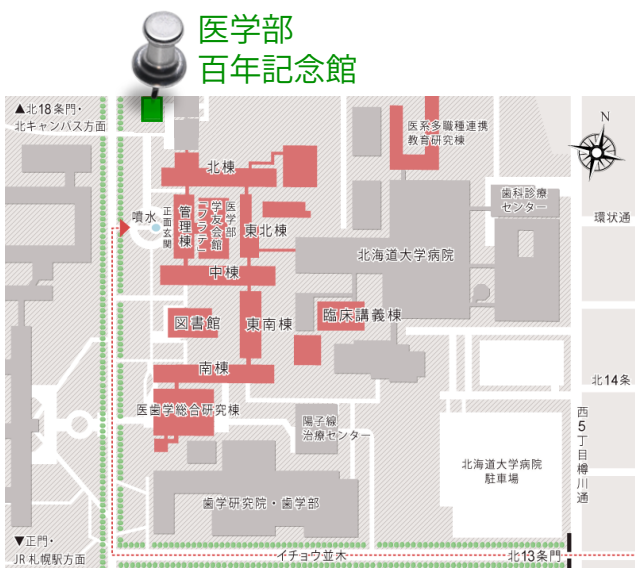
## Session 2

### 特別講演

### 北海道大学形成外科学教室との不思議なご縁

大阪大学 大学院医学系研究科 形成外科学

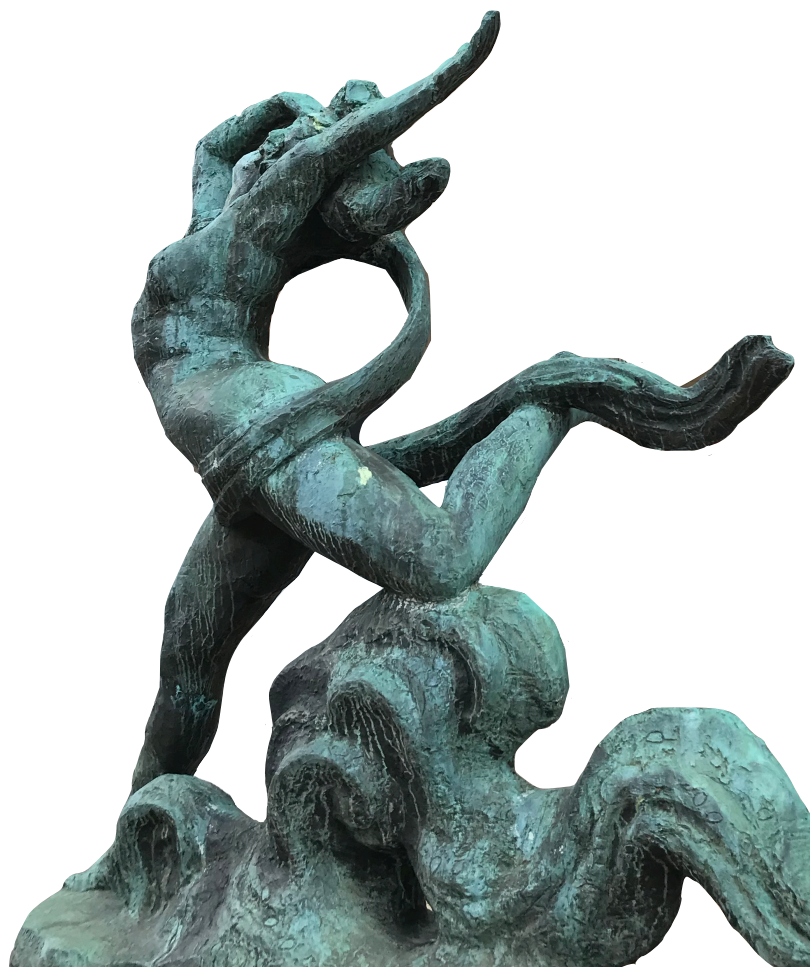
久保盾貴



代表：山本有平

事務局：北海道大学医学部形成外科学教室  
〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目  
e-mail: info@prs-hokudai.jp

運営委員長：石川耕資



# PROGRAM

## Session 1

北成賞2024受賞記念講演 (15:20-15:50) 10分×3  
Moderator : 舟山恵美

### 〈臨床研究論文部門〉 前田 拓

このたび北成賞「臨床研究論文部門」の荣誉に与りましたことを大変うれしく思います。現在、頭頸部再建を担当しておりますが、今回耳鼻咽喉科・頭頸部外科の先生方との仕事を一つの形にすることができました。また本論文執筆は北大形成外科というめぐまれた環境の中でなし得たことでもあります。改めて教室を主催されている山本教授と、北大形成外科の教室員の先生方に厚く御礼申し上げます。

- Maeda T, Ishikawa K, Oda Y, Kano S, Tsushima N, Sakashita T, Homma A, Yamamoto Y, Funayama E: Utility of color Doppler ultrasonography in monitoring of a free jejunal flap. Laryngoscope 133: 3361-3369, 2023

### 〈基礎研究論文部門〉 三浦隆洋

このたびは北成賞「基礎研究論文部門」受賞の荣誉に与り、大変うれしく思っております。今回私は、大学院研究においてラットを用いた顔面神経麻痺研究を行い、その中でも評価法にフォーカスし研究を進めてまいりました。紆余曲折がありましたが、今回ようやくその結果を一つの形にすることができました。ご指導頂きました山本教授と北大形成外科の先生方にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

- Miura T, Yamamoto Y, Funayama E, Ishikawa K, Maeda T: Development of a simultaneous and noninvasive measuring method using high-frame rate videography and motion analysis software for the assessment of facial palsy recovery in a rat model. J Plast Reconstr Aesthet Surg 82: 211-218, 2023

### 〈若手研究者部門“La Primavera”〉 佐々木雄輝

このたびは北成賞「若手研究者部門」受賞の荣誉に与り、大変光栄に存じます。今回私は、Klippel-Trenaunay症候群患者の既存手術検体からの次世代シーケンサーを用いたPIK3CA遺伝子変異検出に関する報告、乳児の先天性血管腫に化膿性肉芽腫を合併した一例報告、頸部特異性乳糜漏に対してリビオドールを用いたリンパ管造影によって診断および治療を行った一例報告をそれぞれ発表いたしました。ご指導頂きました先生方にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

- Sasaki Y, Ishikawa K, Hatanaka KC, Oyama Y, Sakuhara Y, Shimizu T, Saito T, Mura N, Onodera T, Miura T, Maeda T, Funayama E, Hatanaka Y, Yamamoto Y, Sasaki S: Targeted next-generation sequencing for detection of PIK3CA mutations in archival tissues from patients with Klippel-Trenaunay syndrome in an Asian population. Orphanet J Rare Dis 18: 270, 2023
- Sasaki Y, Ishikawa K, Miura T, Funayama E, Yamamoto Y, Maeda T: Partially involuting congenital hemangioma with pyogenic granuloma-induced rapid progression following incisional biopsy in infancy: A case report. Clin Case Rep 11: e7941, 2023
- Sasaki Y, Sakuhara Y, Sasaki S, Maeda T, Yamamoto Y, Ishikawa K: Intraneodal lymphangiography with lipiodol as a diagnostic and therapeutic approach for spontaneous cervical chyle leak. Clin Case Rep 11: e8161, 2023

## Session 2

特別講演 (16:00-16:45) 45分  
Moderator : 山本有平

### 北海道大学形成外科学教室との不思議なご縁

大阪大学 大学院医学系研究科 形成外科学 教授

久保 盾貴 先生



私は頭頸部再建を専門とし、これまで働いてきました。専門医を取得したくらの時期に、貴学 山本有平先生が書かれたたくさんの方の頭頸部再建に関する英語論文を読み漁ったのを覚えております。なかでも2つの論文 Superiority of end-to-side anastomosis with the internal jugular vein (Br J Plast Surg. 1999)と Reconstruction following total laryngopharyngoesophagectomy and extensive resection of the superior mediastinum (Plast Reconstr Surg. 1997)は、私にとって衝撃的な論文でした。私が論文を書いたり、新たな手術のアイデアを考えたりする際に参考になり、それが後の教授選考で大変役に立ちました。それ以外にも、大阪大学形成外科学では、末梢神経再生やケロイド形成の基礎研究を行ってきましたが、それも貴学と共通しており、研究の上でも大変参考になるご発表をありがとうございました。そのため貴学とは、何かしら不思議なご縁を感じております。

今回、私の教授選考セミナーでの発表を提示させていただきます。また、大阪大学形成外科学の今後や、私の考える日本形成外科学会の方向性についても僭越ながら述べさせていただきます。

### 久保盾貴先生ご略歴

#### 【学歴・職歴】

- 1996年3月 大阪大学医学部医学科 卒業
- 1996年6月 大阪大学医学部附属病院 皮膚科（形成外科診療班）研修医
- 1997年6月 住友病院 形成外科 研修医
- 1998年6月 大阪大学医学部 皮膚科（形成外科診療班）研究生
- 1998年11月 大阪大学医学部附属病院 皮膚科（形成外科診療班）医員
- 2003年4月 大阪大学 大学院医学系研究科 形成外科学 助手
- 2005年7月 ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院 形成外科 研究員
- 2007年7月 大阪大学 大学院医学系研究科 形成外科学 助教 復職
- 2008年4月 大阪大学 大学院医学系研究科 形成外科学 講師
- 2009年4月 大阪労災病院 形成外科 部長
- 2013年7月 大阪大学 大学院医学系研究科 形成外科学 講師
- 2015年5月 大阪大学 大学院医学系研究科 形成外科学 准教授
- 2019年3月 大阪大学 大学院医学系研究科 形成外科学 教授  
～現在に至る

#### 【主な役職】

- 日本形成外科学会（理事）、日本マイクロサージャリー学会（理事）
- 日本創傷外科学会（理事）、日本頭蓋顎顔面外科学会（理事）
- 日本形成外科手術手技学会（理事）、日本静脈学会（理事）
- 近畿Venous Forum（理事長）、日本頭頸部癌学会（代議員）

